

1. 2. 3. 4.
とあたす ういとく とすえい きるひぬ 主主とし イエエ ススれス よがをす たのほな だぞろれ なみぼの れたすか

のまおい みわりな がばもに とにかと こなたき しいくわ えが主に にたよわ わきなが れわれみ のぎをを

受^うよわひ くろれき るこはよ もびはせ のになた ななさま り^んわじえ 主さたさ よらだら なば主ば がわがす あがわべ いみれて

ははとの わあとな れいもみ にすにだ せるいぬ まなまぐ れれさわ ばをばれ ないこと がかこき あなろわ いるみの



わたしの戒め保ち、それを守る人は、わたしを愛する人です。
 わたしを愛する人はわたしの父に愛され、わたしもその人を
 愛し、わたし自身を彼に現わします。 ヨハネ 14:21
 みことばを守っている者なら、その人のうちには、確かに神
 の愛が全うされているのです。 ヨハネ第1書 2:5

5

われ世にあるもの もは^{した}や慕わず
 主イエスよ^みなが身の 愛するものと
 な^{みこころ}が御心を すべてに^まさる
 わが^{たから}宝として たえず^{まも}守りゆかん。

7

主にある望^{のぞ}みを わが^{いかり}錨とし
 世と罪に^{また}全く ^か勝たしめたまえ。
 再び^{ふたたび}なれの 来^きたります日を
 全^{また}き悔いをもて ^{むか}迎えしめたまえ。

6

わが心しばし この^よ世を^{はな}離れ
 み父のみ国に のぼり^のゆくなり。
 わがたましいの 愛する国へ
 愛の^{つな}綱により われは^ひ引かれゆく。

8

真^{まこと}にて満^みつる わがイエス君よ
 な^{あさ}が愛朝ごと ^{あま}甘くうるわし!
 心^{ひら}を開き わが^{くる}苦しみを
 夜^よごとに御前^{みまえ}に 打^うち明^あけまつらん。

9

いかなるおりにも ながうるわしき→
 御姿^{みすがた}をわれに 仰^{あお}がせたまえ。
 わがくちびるに なれ^ほを誉めさせ
 誉むべき主をの^{かた}み 語^{かた}らせたまえや。